

## 在日米国商工会議所（ACCJ）とのパネルディスカッションの実施結果について

平成28年10月28日  
本部事務局

1 日時 平成28年10月14日（金） 午後5時～午後6時45分

2 場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 平安の間（4階）

## 3 次第

- (1) プレゼンテーション 関西広域連合本部事務局 参与  
森 健夫  
(関西ワールドマスタースゲームズ2021組織委員会事務局 次長)
- (2) パネルディスカッション 「関西ワールドマスタースゲームズ2021の開催を核とした観光の推進について」

## モデレーター（司会）

ACCJ特別顧問 渉外・広報委員会副委員長  
スティーブ・岩村 氏

## パネリスト

(関西広域連合)

委員 三日月 大造 氏 (滋賀県知事)

委員 竹山 修身 氏 (堺市長)

(近畿運輸局)

局長 若林 陽介 氏

(関西ワールドマスタースゲームズ2021組織委員会事務局)

事務総長 木下 博夫 氏

(ACCJ)

ティム・ブレット 氏

(ACCJ理事、日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長)

ジョナサン・クシュナー 氏

(ACCJ副会頭・Olympics and Sports Business Committee 共同委員長)

クリストファー・クラーク 氏

(ザ・リッツ・カールトン大阪 総支配人)

松本 秋夫 氏

(ACCJ関西支部 渉外・広報委員会 委員長)



## 在日米国商工会議所（ACCJ）とのパネルディスカッション概要

### <パネリストの主な発言骨子>

#### 【ティム・ブレット（ACCJ理事、日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長）】

- ・ WMGは参加することに意味がある大会であり、報道等に取り上げられることが目的ではない。しかし、WMGは参加者等を通じて、関西の文化等を紹介し関西を知ってもらう良い機会である。
- ・ WMG運営の為の資金調達にはスポンサーが必要となる。海外のスポンサーからの資金調達を行うのであればWMGをどのようにアピール、アプローチするかを考える必要がある。

#### 【ジョナサン・クシュナー（ACCJ副会頭Olympics and Sports Business Committee 共同委員長）】

- ・ WMGを機に、関西ブランドを他の国々に伝えるためにも、関西ブランドとは何か、関西の強みを明確化し、関西だからできることを長期的にアピールし、関西への注目を維持することが必要である。
- ・ スポーツイベント、観光、関西をつなげることにより、参加者からの口コミ等により各コミュニティで関西ブランドを広めていくことができる。

#### 【クリストファー・クラーク（ザ・リッツ・カールトン大阪 総支配人）】

- ・ WMG参加者の受け入れや観光客を招き入れる為のサポートを担うホテル業として、最近注視している事項に民泊がある。ホテルの経営形態にもよるが、安価な料金で運営している宿泊業については影響が大きいのではないかと考える。また、日本を訪れる若い世代も民泊に注目している。今後の行政としての規制等にホテル業は注目している。
- ・ 海外観光旅行者を招き入れるための課題として、人材不足がある。人材育成はホテル業の責任課題となっており、ホスピタリティの人材育成は必須である。

#### 【松本 秋夫（ACCJ関西支部 渉外・広報委員会 委員長）】

- ・ 日本に対する海外からの投資の90%近くは、関東に行われており、関西は魅力を発信しないと、投資も雇用も増えない。ACCJ関西の取組みとして、「One Kansai」の推進運動を行っている。「One Kansai」は関西の官民学が連携し、各々の地域の弱い部分を補い合う仕組み作りである。
- ・ 関西の観光に必要と思うものは、「One Kansai」の推進の為にも、交通網の強化が必要と考えている。
- ・ 関西の発信力を強化し、関西の魅力を伝える為の外国への発信力強化には、外国人の起用が必要である。投資を誘致する為にも地域の魅力を伝えなければならない。

#### 【三日月 滋賀県知事】

- ・ 観光は関西のみならず、全国的に重要な産業である。交流人口の増加による経済の活性化が見込まれ、多様な海外文化に触れることにより多様性を尊重する考えを育てることができる。また、平和でないと観光は成り立たず、観光を盛んにすることは平和を作ることになるといえ、観光は平和産業といえる。
- ・ WMGが開催される前年、前々年には東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップが行われる。大きなチャンスであり、関西はチャレンジすることにより観光産業で関西を元気にしていきたいと考えている。

- ・広域で観光を行っていくことにより、関西にしかない物をアピールし、広域でしか味わえない観光の良さを知ってもらうきっかけにしたい。
- ・関西版DMOについて、今年の3月に60以上の団体が力をあわせて、関西国際観光推進本部が設立された。個々の魅力を磨き、個々の観光資源をつなぎ発信することが重要だと考えている。

#### 【竹山 堺市長】

- ・関西の魅力を発信する為にもWMGは重要と考えている。また、堺市としては、関西の魅力を発信する方法の一つとして大阪南部地域の観光DMOを設立し、泉州9市4町の観光を活性化することが必要であると考えている。関西国際空港に來られた海外観光客が関西国際空港周辺の泉州9市4町に観光で訪れる機会が少なく、この状況を解消するには泉州地域の魅力を発信することが大事であると考えている。泉州を「美の伝説」の結節点として位置付け、泉州DMOを早期に設立し、海外の方と交流を密に持ちたいと考えている。
- ・WMGに來られた方々に対して、ホームステイやエクスカージョンをするようなイベントを開催したいと考えている。また、観光は経済効果もあるが、市民の誇りを盛り立てるものであると考えている。

#### 【若林 近畿運輸局長】

- ・関西国際空港の着陸料について、以前から行政としては高くないという発言となるが、現在は民間運営会社が独自に判断できる状況となっている。関西全体の観光を推進する役割を担う上で検討いただければと考えている。
- ・DMOについて、国が担う役割としては専門家によるデータ検証等を行う事により支援する働きとなる。
- ・民泊は宿泊者と住民が安全安心でいられることが大切である。宿泊者と住民間で問題が起らないよう制度設計する必要がある。また、民泊ではないが町屋や古民家を改良し一棟を宿泊施設とするなど宿泊先の多様化を図る動きもある。
- ・地方空港へのアクセスについて、関西には複数の空港があるがバス、タクシー等によりアクセス整備されているが、交通の中心は伊丹空港、新大阪、梅田、難波、関西国際空港と考えており、拠点整備は重要であると考えている。

#### 【木下 事務総長】

- ・関西国際空港、関西広域連合ができたことが現在の関西を、関西と呼ぶことになった契機と考えている。WMGについても関西の契機を担っていると認識している。また、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、WMGと続くことから各大会のまとめ役を担う重大な役割でもある。
- ・人材の確保については、今までのWMGとは異なり、広域での開催となり各開催地域との連携が重要であると考えている。
- ・ACCJとしてもWMGについて継続して意見交換を続けていきたいとの申し出をいただいた。今後も継続して意見交換を行いたいと考えている。